

カッター・カヌー団体利用の手引き

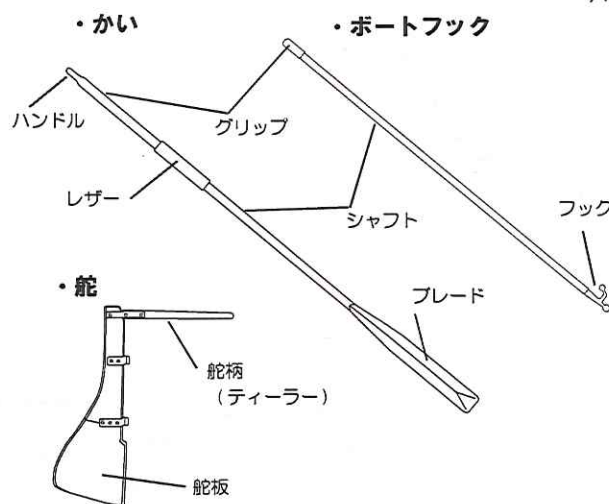
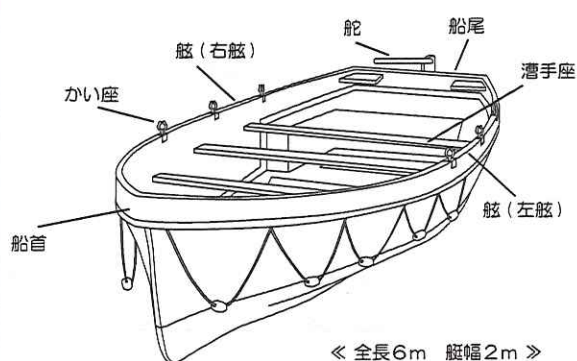


▲ カヌーの説明の様子

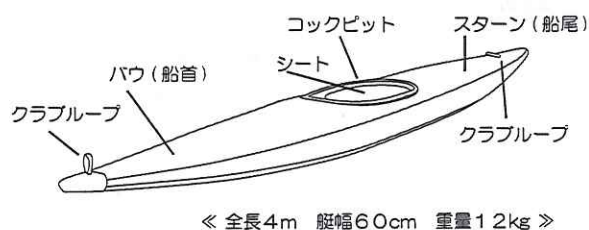


▲ カッター出港の様子

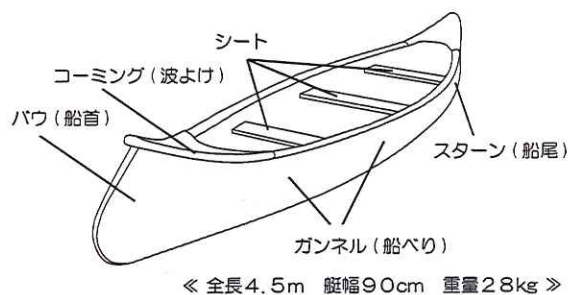
カッター



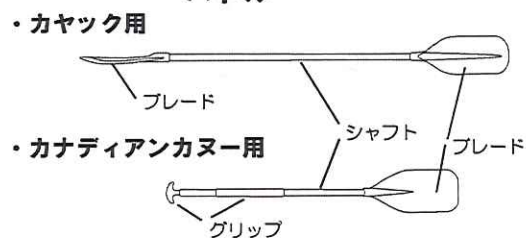
カヤック



カナディアンカヌー



パドル



カッター

カッターの概要

本来は艦船に積まれていた人命救助または、上陸などに使用するための小舟艇です。またそれらを大きさで区別し、その中でも普通艇を「カッター」と呼びました。

昔のボートには船首と船尾が尖ったホエール・ボートが多く使われていましたが、その船尾

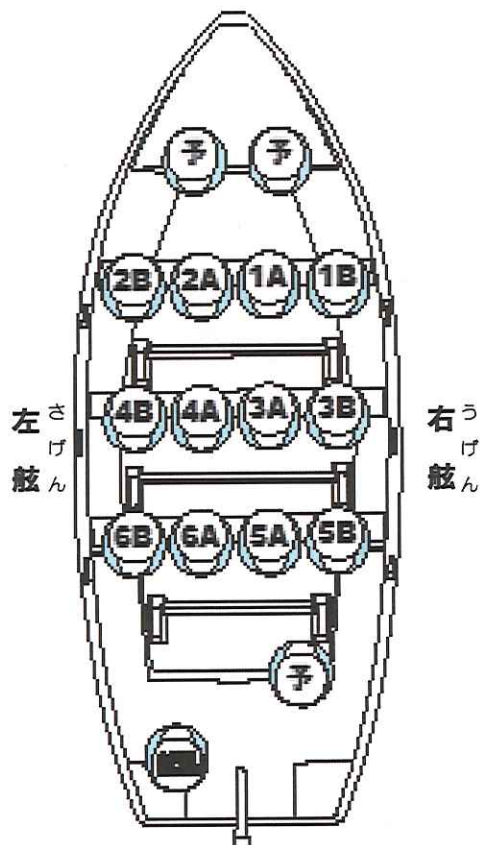


を切断したような形であることから「カッター」という名称が生まれたといわれています。

現在では、学校、会社などの集団研修に幅広く利用され、カッターの基礎技術と知識の体得はもとより、規律、協力、気力、体力を養うための効果的な研修プログラムです。

1 乗艇人員

- ・艇長 1人（先生、リーダー）
- ・漕ぎ手 12人（*高校生以上6人）
- ・予備艇員 1～5人



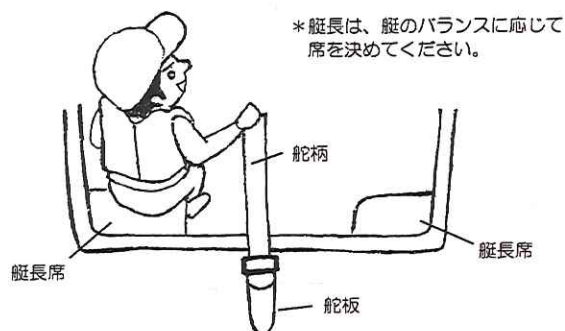
※艇長から船首を見て右側が右舷、左側を左舷

2 乗船姿勢

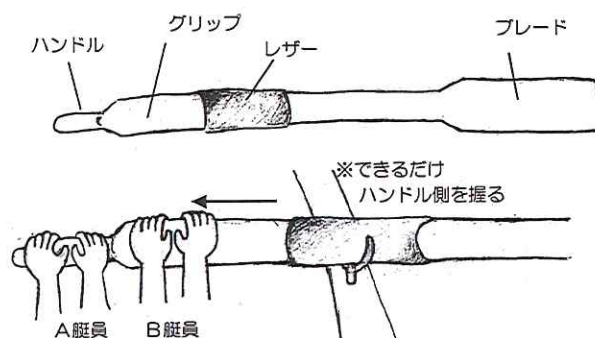
(1) 漕ぎ手



(2) 艇長



3 かいの持ち方



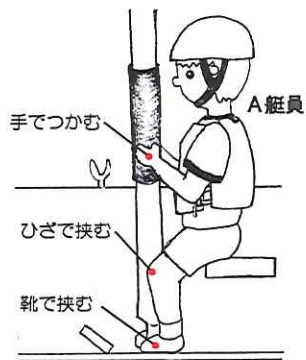
4 「かい」と号令

(1) 「かい立て」

(出港、入港時)

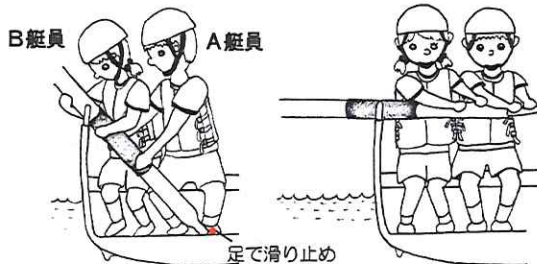
「手、ひざ、靴」3点
でしっかりとかいを
ささえます。

特に靴の部分はゆるめ
ないようにしてくださ
い。



* かいとは長く重たいので取り回し
には十分注意して下さい。

(2) 「かい備え」

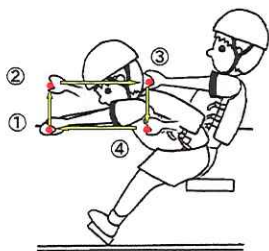


(3) 漕ぎ初め「用意」

- ・ 前傾姿勢
- ・ ひじを伸ばす
- ・ 艇長の号令に合
せて漕ぐ

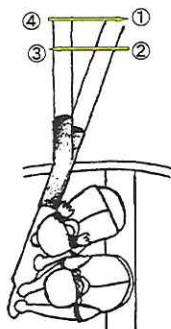


(4) 漕ぎ「かい入れ」



艇長「そーれ」
④ → ① → ②

艇員「よーいしょ」
② → ③ → ④



(5) 「かいつけ」(ブレーキ)

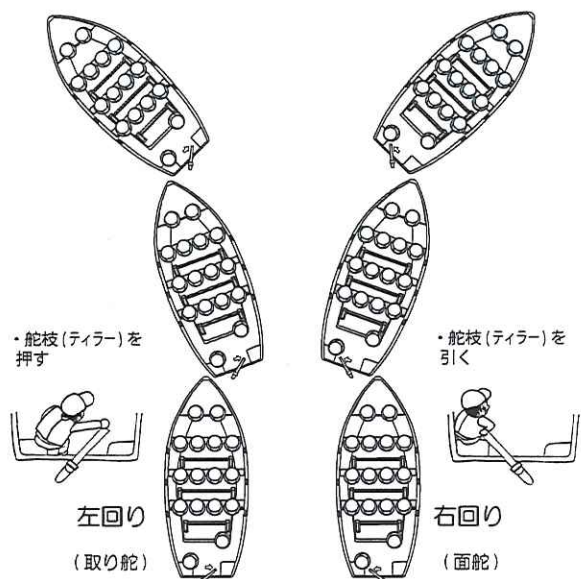
- ・ ブレードの半分を水面に
つけます。



5 「舵」と号令

(1) 舵の操作

(左側艇長席の場合)



* 船尾を振りながらゆっくり旋回します。

* 風の影響を受けやすく、舵がきかないことがあ
ります。漕ぎと合わせて舵取りをします。

(2) 急な方向転換

曲がりたい側の漕ぎを止め反対側だけ漕がせま
す。Uターンする場合は、曲がりたい側を「かい
つけ」し、反対側だけ漕がせます。

(3) ブレーキ

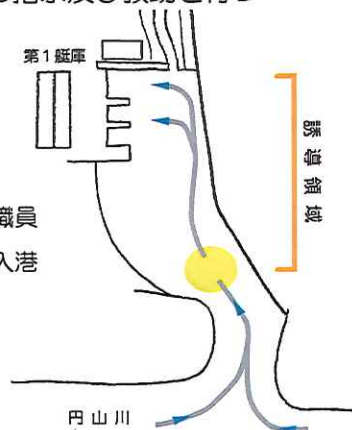
全員「かいつけ」をします。水の抵抗でとまる
ので完全に止まりません。緩やかに減速します。

6 留意事項

- (1) 停止状態では舵は効かない
- (2) 艇と艇の間は、20m以上空ける
- (3) 艇は急ブレーキ・急回転ができないの
で、早めに舵を取る
- (4) 艇は風や波の影響を受けやすい
- (5) 万一転覆しても、慌てず艇から離れな
いよう艇員に指示し、人員数を確認して、
監視指導艇の指示及び救助を待つ

◆入港時の コース取り

- ・ 誘導領域では職員
の指示に従い入港
します。



カヌー

カヌーの起源

「カヌー(Canoe)」という言葉は、スペイン語の「CANOA」から来ています。この言葉は「船首と船尾が尖っていて、かいで漕ぐ船」という意味で、世界のいたる所で使われています。

カヌーには大別して、カヤック(Kayak)とカナディアンカヌー(Canadian Canoe)とがあります。カヤックはグリーンランドのエスキモー達が狩猟用として、アザラシの皮を張ったものを船として使ったのが始まりです。一方、カナディアンカヌーはカナダの原住民が湖沼や川の連絡用に、あるいは狩猟用に樺の木で作った船が起源とされています。

今日では、レジャーとしてまた競技として、幅広く利用されています。

乗船姿勢

・カヤック



※バランスをとり静かな動きで漕ぐ

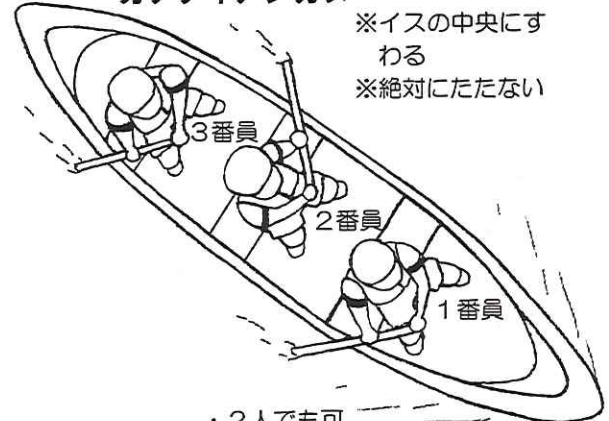
- ・二人乗り有
- ・体重にあわせ艇を選ぶ

※肩幅より少し広めに握る



※外側に足を開きひざで体を固定する。

・カナディアンカヌー



※イスの中央にすわる
※絶対にたたない

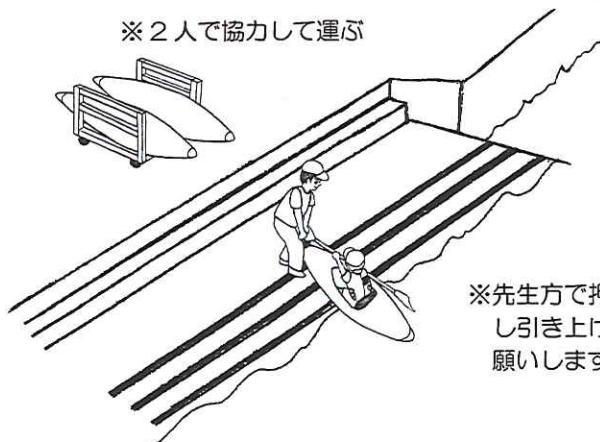
- ・2人でも可
- ・アウトリガー付き有
- ・定員は3人(子どもの場合)



パドルの持ち方

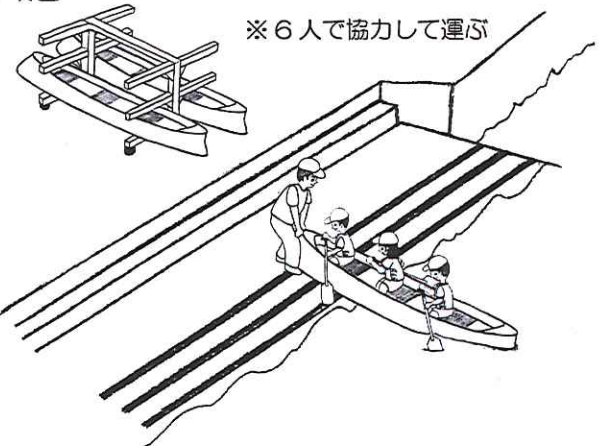
出港・入港

※2人で協力して運ぶ



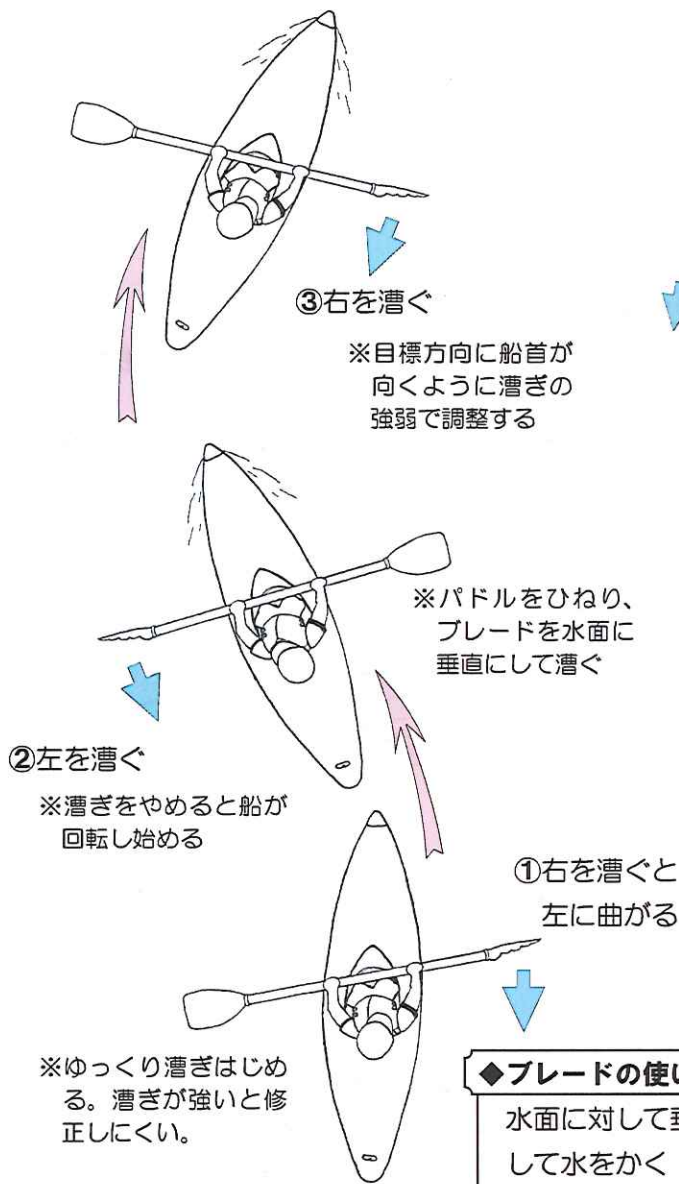
※先の方で押し出し引き上げをお願いします。

※6人で協力して運ぶ



漕ぎ方の基本

カヤック



◆ブレードの使い方

水面に対して垂直にして水をかく

◆急な方向転換

- ・ 曲がりたい方向のブレードを水につけブレーキをかけると早く方向を変えることができる
- ・ カヌーの場合、3番員のブレードをブレーキや斜め後方で舵にして方向を変えることができる

注意事項

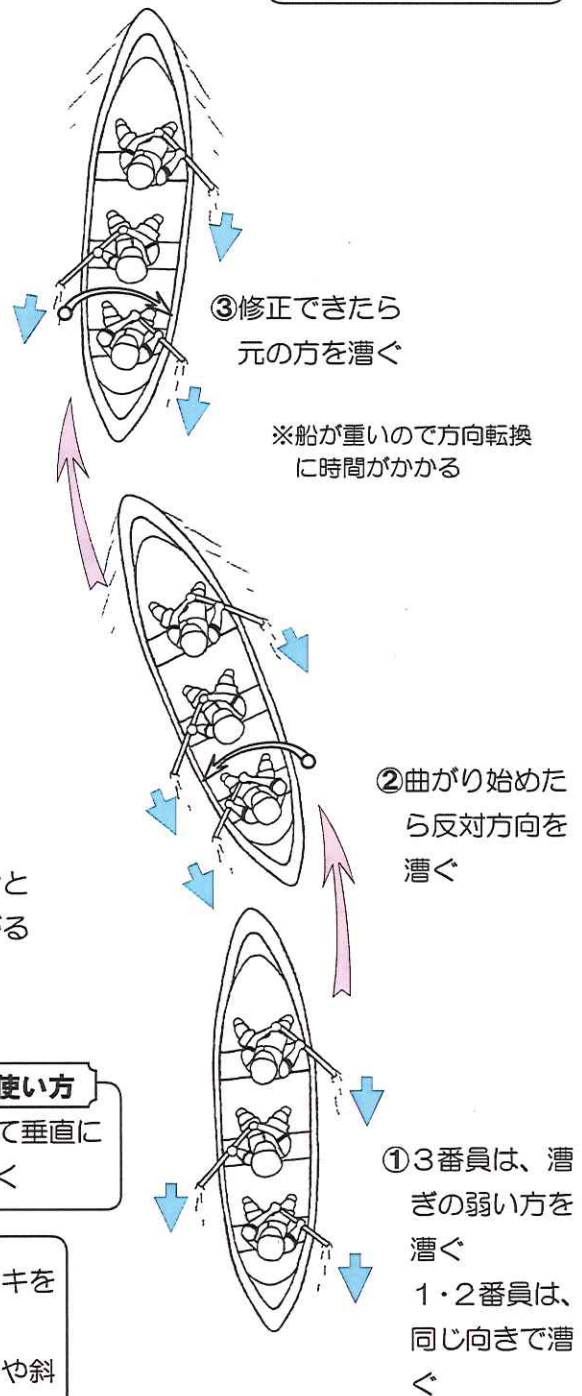
- ・ 膝をたてない
- ・ パドルを深く入水しない



- ・ 立たない
- ・ 揺らさない



カナディアンカヌー



※転覆したとき

- ・ あわてない
- ・ 救命着をつかみ顔を空に向ける





引率される先生へのお願い



1 児童への事前指導

- (1) 水上での体験です。指示を聞けるようにして下さい。
- (2) 児童の体調を観察し、無理をさせないようにして下さい。
* 発熱、乗り物酔い等

2 カッター体験

- (1) 艇長は引率者の方でお願いします。
- (2) 次の3点を事前に児童へ理解させて下さい。
 - ① 何号艇に乗るか、どの艇長の船に乗るか。 ② 乗船位置はどこか、英数字で覚える。
 - ③ 自分の座席は右舷か、左舷か。
- (3) 艇長をされる方は、その艇の最高責任者です。子どもたちがスムーズに活動ができるよう職員が艇長指導をします。

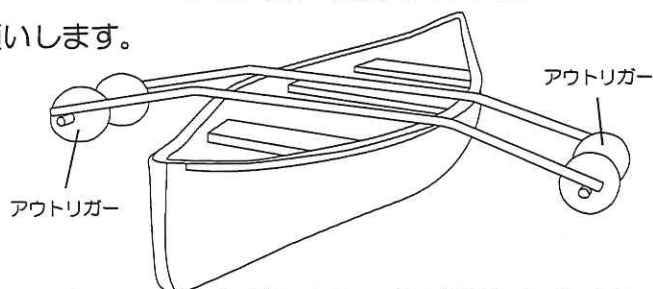
艇長の仕事 ①乗員の安全 ②漕ぐ号令をかける ③舵を取る

3 カヌー、カヤック体験

・アウトリガー付カナディアンカヌー

次の事項の児童への指示と指導をお願いします。

- ① 台車から船の出し入れの指導
- ② 船の池への押し出しと引き上げ
- ③ 雨天時の準備



4 ハンディのある児童へ

アウトリガー（補助浮き）付カナディアンカヌー、2人乗りカヤックがあります。できるだけ対応をさせていただきますので事前に申しつけて下さい。

5 その他

- (1) カッター漕艇中に、体調を崩した児童があればモーターボートの監視職員へ各カッター備え付けのトランシーバーにてお知らせ下さい。モーターボートが向かいます。
- (2) 一般利用のお客様がおりますので、児童へのマナーの指導をお願いします。
- (3) 浮き桟橋では、職員が入出港作業をしますので、岸でお待ちください。
- (4) 活動領域は、下図の範囲です。



安全に楽しくご利用いただくために！！

1 活動時の服装

- (1) 活動時にはライフジャケット、中学生以下のカッターにはヘルメットを無料貸与しますので、必ず着用してください。
- (2) 運動のできる動きやすい服装。(靴は、履き慣れた運動靴。サンダル等は不可。)
- (3) 着替え一式。落水などで全身ぬれることがあります。
- (4) 帽子(ひも付き)。日差しのきつい時など着用します。
- (5) カップ(上下分かれた方が望ましい)雨天時着用します。
- (6) 眼鏡バンド等。眼鏡などを落とさないため。
- (7) お茶など飲みもの。熱中症防止のためです。公苑でも注文できます。

2 美術館観覧

- (1) 入館される前に事務所に声をかけてください。
- (2) 引率の先生方で観覧時の監視や鑑賞マナー指導をお願いします。(中学生以下無料)
- (3) 事前に「作品にさわらない、走り回らない、大声を出さない」等の指導をお願いします。

3 その他

- (1) 昼食や飲み物の注文が可能です。
- (2) 昼食を持参される学校は、必ず弁当がらを持ち帰ってください。
- (3) 利用当日の問い合わせは、8時半以降をお願いします。
- (4) 自然学校で利用する場合は、艇の使用料以外に一人につき100円の受講料が必要です。
- (5) カッター、カヌー、カヤックのOR(基本漕法等の説明)時間は、艇の使用料に含まれます。
- (6) 公苑敷地内では、山側奥に入らないでください。

◆団体での利用の場合はあらかじめ事前打ち合わせ(1ヶ月前まで)をしていただくようにお願いします。

一公苑を取り巻く自然環境一

山と水辺のジオパーク体験



当公苑はジオパークに認定された山陰海岸国立公園内に位置します。公苑の自然環境について、体験の場を提供します。



主 な プ ロ グ ラ ム 例

◆ プログラムの流れと時間の目安

・カッター利用

内 容	所要時間
安全及び技術指導	20分
出港準備	5分
出港、航行、帰航、降艇	1時間半程度
かたづけ	5分

・カヌー利用

内 容	所要時間
安全及び技術指導	20分
乗艇準備	5分
カヤック、カナディアンカヌー体験 ※ご利用人数によっては2グループに分かれて活動します。	1時間半程度
かたづけ	10分

※児童の人数や気象条件により、時間の変動があります。

◆ 1日活動

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
100名以下の 場合	(到着)	カッター体験 (円山川)	(昼食)		カヌー体験 (池)		(出発)		

※101名以上、200名までは、2グループで実施します。

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
101名から 200名の場合	(到着)	Aグループ カッター体験		(昼食)	Aグループ カヌー体験		(出発)		
		Bグループ カヌー体験			Bグループ カッター体験				

◆ 半日活動

[学校帰校日等]

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
100名以下の 場合	(到着)	カッター体験 (円山川)	カヌー体験 (池)	(昼食)	(出発)				

[学校出発日等]

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
100名以下の 場合			(到着)	(昼食)	カッター体験 (円山川)	カヌー体験 (池)	(出発)		

◆ 1日活動 (環境学習)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
100名以下の 場合	(到着)	環境学習 (自然観察、水辺の散策)	(昼食)		カッター体験 (円山川)	カヌー体験 (池)	(出発)		

※上記の環境学習は、陸上でのものです。カッターなどを利用した方法もあります。

◆ ご案内

- ・冬期には、アイススケートのプログラムがあります。
- ・施設内には、美術館があり特別展等実施しています。中学生以下は無料です。

アイススケートの
マスコット
シロクマくん



兵庫県立円山川公苑

〒669-6123 兵庫県豊岡市小島1163

TEL 0796-28-3085 FAX 0796-28-3087